

## オープン市場短信 (2006年11月)

2006.11.07

### 10月のCP市場動向

10月のCP新規発行は、中間期末の有利子負債圧縮目的で残高を落とした事業法人の復活発行やリース会社などその他金融の積極的な資金調達から、期落ち（約4兆4千億円、月中発行・償還分を含む）を上回る4兆8千億円程度の発行があった（除く、ABCP・金融機関発行CP）。

発行レートは、期明け後の余剰資金運用のため投資家・ディーラーが積極的に購入に向かったことから、年内物は順調に低下し現先取引レートと同水準（0.30～35%）での出会いとなった。年越し物は、前月から低下余地を探る展開であったが、福井日銀総裁が13日の記者会見で年内利上げを否定しない旨の発言を行なったことから、16日以降は徐々にレートが上昇した。もっとも、CPIの前年比伸び率が鈍化したこともあって、次回利上げを本格的に織込むような動きは見られず、1月期日物のa-1格一般銘柄で0.40%近辺の出会いとなった。

### 銘柄別の発行レート

#### 10月のCP取引発行レートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.315 ~ 0.330%	0.334 ~ 0.359%	0.369 ~ 0.389%
格付 a-1(オペ適格)	0.33 ~ 0.359%	0.343 ~ 0.364%	0.375 ~ 0.424%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.315 ~ 0.325%	0.355 ~ 0.365%	0.372 ~ 0.380%
格付 a-1(リース銘柄)	0.353 ~ 0.415%	0.362 ~ 0.430%	0.370 ~ 0.480%
格付 a-2	0.355 ~ 0.510%	0.38 ~ 0.50%	0.446 ~ 0.80%

### CP オペ

CP現先オペは、今月も2回の期落ちに対しオファー日をずらして、同額のオペが実施された。4日・18日オファーのいずれも応募総額は買い入れ予定額を上回ったものの、足元現先レート水準での落ち着いた落札結果となった。足切レートは、6日スタート分が0.31%、20日スタート分は0.32%。平均落札レートは、6日スタート分が0.324%、24日スタート分は0.325%であった。

### 10月末のCP オペ残高

CP 現先オペ 5,915 億円

(短期社債・保証付短期外債 5,720 億円/資産担保短期債券 195 億円)

## ABCP

10月末のABCPの発行残高は、中間期末要因の剥落から約4兆4,143億円と、前月比約931億円減少した。

## 短期社債残高

証券保管振替機構の公表数字によると、10月末の短期社債の発行残高は19兆2,524.64億円と前月比約2,595億円減少した。外資系証券会社の残高がゼロになるなど、証券会社CPの発行減が大きく影響した。もっとも、事業法人やその他金融は順調に発行残を伸ばしている。

10月末時点の発行登録企業数は428社で、既発行企業は386社であった。今年4月以降短期社債を新規発行した企業は33社に上り、短期社債発行市場の裾野は順調に拡大している。

## 現先市場

月中現先レートは、期末要因の剥落もあってほぼ横這いで推移した。S/NレートはレポGCレートの影響が若干みられたが、0.30~0.35%のレンジで落ち着いた出合いであった。

## 11月のCP市場動向

11月中のCP償還額は、約3兆6,300億円と前月に続き前年同月(約2兆9千億円)を大幅に上回っている(除く金融機関発行CP・ABCP)。毎月の償還額が増加しているのは、発行期間の短期化が進み、ショートターム物のロールが中心となっていることによる。一般事業法人は年内物の発行が中心、期落ちの多いリース会社等その他金融では2~3M物の発行が中心になっている。

発行レートは、年内物は0.3%台前半から0.35%近辺での推移を予想。年越し物は、1月の日銀金融政策決定会合以降の期日物について、タームが延びるにつれ利上げを意識したレートがつくだろう。市場に利上げ警戒感が残るほか、今月は賞与資金手当での発行が増加すること、期落ちの多い先ではレート水準を切り上げて調達する動きも予想されることなどから、発行レートが上振れしやすい状態が続くと思われる。

## CPオペ

現先オペは、7日と17日に月中2回の期日が到来する。今月も、資金過不足を均すようなオペレーションになると思われる。資金不足日に、前月同様2回の入札が行なわれることになるだろう。

## 現先市場

月中現先レートは、S/N物で0.29~0.34%の出合いを予想。ターム物は0.30~0.35%の水準の出合いを予想。

(松倉)

**参考資料**

**業種別残高内訳**

			単位:億円
業種	10月末残高	9月末残高	増減
事業法人	49,541	48,939	602
その他金融	69,118	66,191	2,927
金融機関	29,823	35,015	5,192
( 銀行等	14,820	15,716	896 )
( 証券	15,003	19,299	4,296 )
ABCP	44,143	45,074	931
計	192,625	195,219	2,594

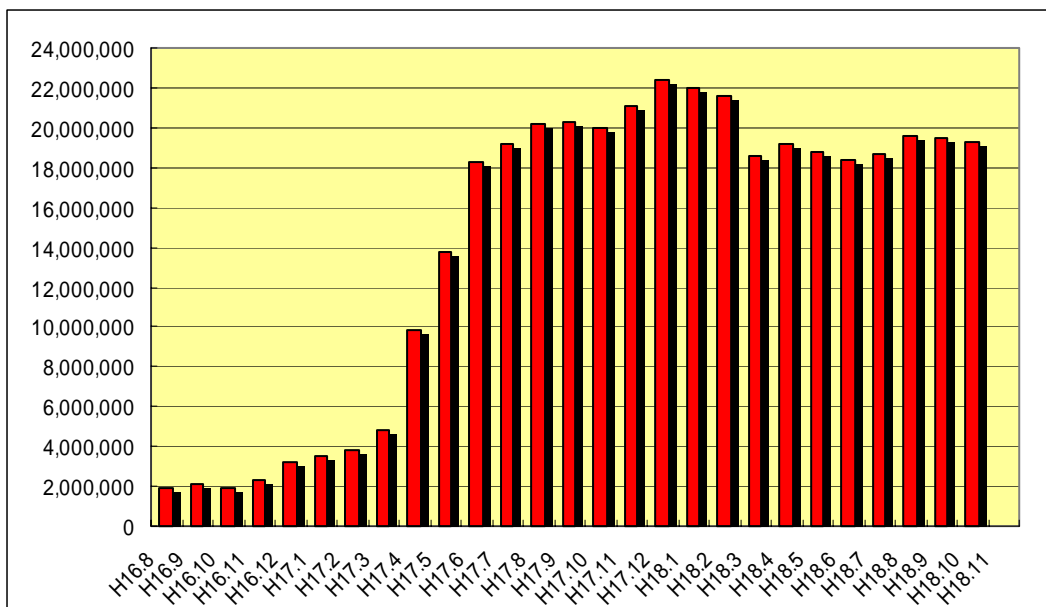
**短期社債月末残高** (H16年8月~H18年10月)

短期社債月末発行残高

10月末

発行残高 : 19兆 2,625.64 億円

発行登録企業 : 428 社 (発行実績あり 386 社) (単位:百万円)



10 月末発行残高ベスト 20

(単位:百万円)

	発行企業名	10 月末残高
1	オリックス	816,600
2	フォレスト・コーポレーション	679,151
3	ダイヤモンドリース	580,000
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	501,500
5	エイベックス・ファンディング・コーポレーション	457,000
6	日産自動車	450,000
7	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	428,700
8	野村証券	402,500
9	ミレニアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	397,960
10	住友信託銀行	365,900
11	みずほコーポレート銀行	364,800
12	みずほ証券	358,000
13	新日本石油	349,000
14	住商リース	345,500
15	UFJ セントラルリース	342,500
16	東京リース	326,000
17	UFJ ニコス	304,000
18	三菱東京 UFJ 銀行	300,600
19	日産フィナンシャルサービス	300,000
20	興銀リース	298,500

参考出所 (株)証券保管振替機構